

## 県央・林業部トピックス（10月号）

### 大田市でウッドコンビナート研修を行いました！

令和7年10月8日、大田市内の木材市場と製材所において、ウッドコンビナート研修を開催しました。

ウッドコンビナートとは、地域ぐるみで伐採から製材加工までの生産・流通の取組が拡大される仕組みのことです。この仕組み作りのため、林業事業体と製材工場で原木の安定供給協定を締結し、原木の計画的・安定的な流通体制を構築しています。また、製材工場の新設や規模拡大により製材能力の向上を図っています。

この取り組みは島根県農林水産基本計画にも位置付けられており、本計画の二期目（R7～R11）では、ウッドコンビナートの強化に向けて地域ごとに取り組みを進めています。

研修は、2部構成（現場見学、意見交換会）で実施され、国・県・市町の林業または建築担当部局の職員、ならびに森林組合の職員が参加しました。

第1部の現場見学では、大田市木材市場協同組合にて原木の産地や用途等について、また、竹下木材（有）では製材ラインや木材乾燥機等についてご説明をいただきました。

第2部の意見交換会では、建築物の木造化を推進する上での課題や各業種からの要望などについて、活発な意見交換が行われました。

今回の研修を通じて、関係者間の考えの共有や、地域内の原木および製材品の供給体制への理解が深まったと思います。

今後も研修を重ねることで、林業・木材産業関係者、建築関係者、行政の関係づくりを進め、公共建築物や非住宅建築物の木造化を更に推進していきます。



大田市木材市場



竹下木材（有）